（事後評価）

愛媛大学「坂の上の雲」女性研究者育成プラン

（実施期間：平成 22～24 年度）

実施機関：愛媛大学（総括責任者：柳澤 康信）

プロジェクトの概要

(1)女性研究者のための具体的な取組

「女性未来育成センター」を新設し、大学全体で女性研究者に対する支援を行い、女性研究者の育成に「坂の上の雲」のごとく積極的に取り組む。具体的には、(1) 育児などにより多忙な女性研究者への研究支援員制度の実施 (2) 女性研究者へのキャリア相談 (3) 学内保育所の運用 (4) 長期休暇中の学内学童保育所の新設 (5) 理工農系女子学生へのキャリアパス相談 (6) 女子中高生の理系進路選択支援 (7) 意識啓発活動を行う。学生、地域のひとびとも支援に参加する。女性教員拡大は、2020 年までの中長期数値目標を設定し、愛大式ポジティブアクション「1 プラス 0.5」(専任女性教員を採用した学科に、助教人件費の 2 分の 1 を全学経費から支給) を導入して積極的に行う。

(2)期待される効果

これらの取組みにより、女性研究者に対する環境整備と意識改革が進み、女性教員の拡大が期待される。さらに、学生は支援に参画する中で成長する、「えみかキャリアサイクル」全世代育成システムが構築され、次世代研究者の育成も進む。

（1）評価結果

総合評価	目標達成度	取組	システム改革	実施体制	実施期間終了後における取組の継続性・発展性
A	b	a	b	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

（2）評価コメント

学長主導により、学内保育所の新設をはじめとする環境整備、女性研究者ネットワークやメンター制度の構築、女性限定教員公募等のポジティブアクションを実施し、女性研究者の持続的な育成を進めており評価できる。今後は、女性研究者の離職の原因分析を行い、離職率の低下を図り、さらなる採用を進めることにより、理工農学系の女性教員を増加させることを期待する。

・**目標達成度：**研究支援員制度の実施、学内保育所の開設、理系女子学生グループの活動による次世代育成の取組（「サイエンスひめこ」）等については目標を達成した。しかしながら、女性教員比率の増加目標、特に理工農学系については目標を達成できておらず、原因分析による今

後の改善を期待する。

- **取組：**女性限定教員公募や女性教員の採用に対するインセンティブ付与など、女性教員数の増加を目指したポジティブアクションが積極的に実施されており評価できる。さらに、病児保育、長期休暇中の学内学童保育などきめ細やかな支援も実施された。
- **システム改革：**女性研究者の研究業績が向上し、また、研究支援員制度や「サイエンスひめこ」の取組に参画した女子学生の意識改革も進められた。しかしながら、ポジティブアクションが十分に機能しているとは言えず、また、女性教員の離職率も依然として高く改善に向けた取組の策定を期待する。
- **実施体制：**学長のリーダーシップの下、女性未来育成センターを中心とした全学的な事業推進体制を構築しており評価できる。
- **実施期間終了後における取組の継続性・発展性：**十分な予算を確保し、女性未来育成センターを中心とした実施体制により取組を継続している。女性教員の採用に対するインセンティブ付与といったポジティブアクションも継続しており評価できる。